

臨床研究に関する公開情報

平成 29 年 3 月 31 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「cT1 胃癌の術前診断に関する検討:後視的コホート研究」

研究期間：2007 年 1 月から 2017 年 4 月までを予定しています。

対象：2007 年 1 月から 2014 年 12 月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて胃癌に対して切除術を施行した患者様。

研究目的：当院の cT1 手術症例で GL 推奨の郭清範囲の妥当性を検証し、過小評価症例の検討から術前診断の注意点を明確にする。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、

- ① 臨床所見（年齢、性別、臨床病期）
- ② 血液所見（術前 CEA,CA19-9 値）
- ③ 病理学的所見（肉眼分類、組織型、腫瘍最大径、間質量、INF、脈管侵襲、深達度、リンパ管浸潤、肝転移、腹水細胞診、腹膜播種）
- ④ 治療（手術日、術式、郭清度、術後合併症）
- ⑤ 術後再発・予後

があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない

方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：

研究責任者： 藤田 悠介

兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器外科
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001
O424.yusuke@gmail.co.jp